

平成27年度国立岩手山青少年交流の家施設業務運営委員会議事要旨

日時 平成27年 7月15日(水) 13:00~14:35

場所 国立岩手山青少年交流の家 曲り家

出席者 〈施設業務運営委員〉

川村 康也 〈代理〉	岩手県立盛岡農業高等学校 副校長
田中 勉 〈代理〉	八戸市教育委員会 社会教育課長
岩渕 健二	一般社団法人盛岡市青年会議所 理事長
大石 泰夫	盛岡大学 文学部 教授
菊池 啓子	岩手県立陸中海岸青少年の家 所長
熊谷 雅英	滝沢市教育委員会 教育長
児玉 政光	青森県教育庁 生涯学習課長
沢屋 隆世	秋田県教育庁 生涯学習課長
主濱 惠悦	滝沢市子ども会育成連合会 会長
白木 貞彦	滝沢市立一本木小学校 校長
神初 見	(株)IBC岩手放送 取締役放送本部長
菅原 正弘	盛岡市立河南中学校 校長
松下 洋介	岩手県教育委員会 生涯学習文化課 総括課長
菅原 一矢 〈代理〉	宮城県教育庁 生涯学習課 社会教育専門監
横澤 繁	岩手県レクリエーション協会 理事長

欠席者 浅沼 道成 岩手大学 人文社会科学部 教授
國分 隆史 岩手県PTA連合会 副会長

〈職員〉

松田所長、長代次長、東主幹兼総務係長兼管理係長、桑原主任企画指導専門職、中田副主任企画指導専門職、鎌田企画指導専門職、中村企画指導専門職、高橋企画指導専門職、丹企画指導専門職、田口事業推進係長、小綿管理係主任、千葉管理係員、三浦総務係員

1 挨拶(所長)

2 日程・資料の確認(次長)

3 施設業務運営委員及び職員の紹介

4 委員長・副委員長の確認

事務局から、昨年度に引き続き大石委員を委員長としたい旨の提案があり、これを了承した。
委員長から、熊谷委員を副委員長としたい旨の提案があり、これを了承した。

5 国立岩手山青少年交流の家施設業務運営委員会規程改正について

次長から、資料に基づき規程改正に係る説明があり、これを了承した。

6 国立岩手山青少年交流の家の運営状況説明等

①平成26年度の運営状況説明

1) 資料に基づき、「ミュージックキャンプ」、「えいご de キャンプ」、「ターゲットズキャンプ」、ボランティア活動状況について、企画指導専門職からそれぞれ説明を行った。

2) 資料に基づき、昨年度の利用者数・満足度などについて、事業推進係長から説明を行った。

②平成27年度の運営状況・計画等説明

1) 資料に基づき、南部曲り家と宮沢賢治を融合させた、曲り家周辺の総合的なエリア開発及び活動プログラム開発について、所長から説明を行った。

2) 資料に基づき、本年度の運営方針、利用者数の数値目標等について、次長から説明を行った。

3) 資料に基づき、「アドベンチャープログラム体験会」、「さんりく体験！探検ツアー」、ボランティア関係事業等について、高橋企画指導専門職から説明を行った。

4) 資料に基づき、国立大学法人岩手大学との連携・協力に関する協定締結について、次長から説明を行った。

③協議

意見・質疑応答

委員長：始めに、予定時刻を超過しており協議の時間を限らせていただくことをお詫び申し上げます。

委員：曲り家周辺エリアの開発について、曲り家自体についてはどのような活用方法を検討しているのか。

所長：曲り家は宿泊利用ではなく、主に各種レクリエーション・体験活動の場として活用していく予定である。また、周辺にテントサイトを設置することで、曲り家を中心とした活動展開ができるよう整備していきたいと考える。

委員長：今後、幼児・小学生の利用者獲得に重点を置いていきたい旨の説明があったが、特に幼児の利用者獲得に向けた広報活動についてはどのように進めていくのか。

所長：近隣の学校・団体等を訪問し、施設利用対象の幅広さなどを周知していきたい。

本会議において説明された平成27年度の計画等について、委員の意見を取り入れた上で、所に一任して実施していきたい旨が委員長から提案され、承認された。

以上